

事務事業名		大船渡市観光物産協会運営支援事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																															
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目																															
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業																											
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和28 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	07	01	04	10																											
根拠法令						事務事業区分																															
所属	部課名	商工港湾部観光交流推進室				A 政策事業 B 施設整備																															
	課長名	森 正				C 施設管理 ④ 補助金等																															
	係名		電話	0192-27-3111		E 一般(A~D以外)																															
	担当者	金野道程	内線	113																																	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																	
当市の観光の中心的な役割を担い、国内外の観光客増加に向けた取組を継続展開している一般社団法人大船渡市観光物産協会の安定的な運営と実施事業の充実のために要する経費に対し補助金を交付する。当協会においては、市内観光センター等の運営、観光客誘致拡大の取組、HPによる観光物産情報の発信、体験観光の推進、各種物産展への出展、インバウンド事業、棒の里・大船渡のPR等、公益性の高い事業を多岐にわたって展開している。				総投入量(千円) <table border="1"> <tr><td>事業費</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>				事業費	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
事業費	国庫支出金																																				
	都道府県支出金																																				
	地方債																																				
	その他																																				
	一般財源																																				
	事業費計(A)	0																																			
人件費	正規職員従事人数																																				
	延べ業務時間																																				
	人件費計(B)	0																																			
	トータルコスト(A)+(B)	0																																			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
前年度実績(前年度に行った主な活動) 一般社団法人大船渡市観光物産協会が行う市内観光センター等の運営、HPによる観光物産情報の発信、観光客誘致拡大の取組など、実施事業の充実や安定的な運営のために補助金を交付した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 補助金を見直し、観光客誘致促進事業に統合。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>交付件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	交付件数	件	イ			ウ		
名称		単位											
ア	交付件数	件											
イ													
ウ													
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)												
・一般社団法人大船渡市観光物産協会	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ</td><td>観光物産協会歳入決算額</td><td>千円</td></tr> <tr><td>キ</td><td>協会会員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	カ	観光物産協会歳入決算額	千円	キ	協会会員数	人	ク		
名称		単位											
カ	観光物産協会歳入決算額	千円											
キ	協会会員数	人											
ク													
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)												
・円滑に協会及び事業の運営をしてもらう。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ</td><td>協会が関わった事業の数</td><td>件</td></tr> <tr><td>シ</td><td>補助率(補助金額/歳入決算額)</td><td>%</td></tr> <tr><td>ス</td><td>観光客入込数(年実績)</td><td>千人</td></tr> </table>	名称		単位	サ	協会が関わった事業の数	件	シ	補助率(補助金額/歳入決算額)	%	ス	観光客入込数(年実績)	千人
名称		単位											
サ	協会が関わった事業の数	件											
シ	補助率(補助金額/歳入決算額)	%											
ス	観光客入込数(年実績)	千人											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)													
・大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。													

(2) 総事業費・指標等の推移								
投入量	事業費	年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)
	財源内訳	単位						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	11,000	11,000	11,000	11,000	11,082	11,023
	事業費計(A)	千円	11,000	11,000	11,000	11,000	11,082	11,023
	人件費							
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	8	8	8	8	8	8
	人件費計(B)	千円	32	32	32	32	32	32
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,032	11,032	11,032	11,032	11,114	11,055
⑤活動指標	ア	件	1	1	1	1	1	1
	イ							
	ウ							
⑥対象指標	カ	千円	68,032	69,810	69,228	102,773	102,691	133,022
	キ	人	258	273	273	277	282	283
	ク							
⑦成果指標	サ	件	-	16	20	20	23	23
	シ	%	16.2	15.8	15.9	10.7	10.7	8.3
	ス	千人	882	730	707	697	789	430

事務事業ID	0451	事務事業名	大船渡市観光物産協会運営支援事業
--------	------	-------	------------------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
大船渡市観光物産協会（大船渡市観光協会）の設立（昭和28年8月10日）時と思われる。
- ② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・事務局を観光物産課（現観光交流推進室）内に置いていたが、平成15年5月に独立した。
・平成26年2月、一般社団法人へ法人化した。
・平成28年度、商工港湾部内の組織機構の見直しにより観光推進室が新設された。（平成27年度までは商業観光課観光物産係が担当）
・平成30年度から（一社）大船渡市観光物産協会の事務所を大船渡市防災観光交流センター1階に移転した。
・当市の震災後における観光客入込状況は、平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であったが、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。
・令和2年の観光客入込状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年比45%増の430千人と大幅に減少した。
- ③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
・（一社）大船渡観光物産協会からは、人的体制等の支援について要望を受けている。
・市議会からは、当市の観光の中心的な役割を担う大船渡市観光物産協会への支援が必要との意見が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	観光事業及び物産事業の振興を担っている大船渡市観光物産協会の運営を支援することは、豊かな地域資源を活用した観光の振興を推進している市の政策に直結する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	市の政策に直結する事業であり、収益事業の拡大を図りつつも、市の支援が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	公共的団体で、行政や経済産業団体が構成員となり、市内の観光物産事業の振興を担っている大船渡市観光物産協会への支援であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	平成26年の約112万人をピークに年々減少傾向であった観光客数が、観光振興の各種取組の成果により、令和元年は、前年比13%増の789千人と増加に転じた。令和2年は新型コロナウイルスの影響により減少したが、継続した取組による成果の向上は期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	大船渡市観光ビジョンにおいては、その推進にあたり一般社団法人大船渡市観光物産協会が事業実践の中心となって取り組むこととしていることから、この事業による取組は必要である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	市の政策に直結する事業であり、事業費の削減は困難である。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	補助金申請の審査等、必要最小限の事務である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	公共的団体で、行政や経済産業団体が構成員となっている大船渡市観光物産協会への支援であり、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果															
1 現状維持 ② 改革改善（縮小・統合含む） 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)															
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 一般社団法人大船渡市観光物産協会は、平成26年度より復興支援員制度を活用して観光振興支援員を雇用し、市の政策に直結する観光振興の事業に取り組んできた。この制度が令和2年度で終了することから、観光施策の効率的・効果的な推進を図るため、既存の補助金や委託事業を見直し、令和3年度より、観光客誘致促進事業、碓氷海岸インフォメーションセンター管理運営事業、観光センター管理運営事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上維持</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上維持		●		低下		×	×
	コスト															
	削減	維持	増加													
向上維持		●														
低下		×	×													

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善（縮小・統合含む） 3 終了・廃止・休止	・大船渡市観光物産協会運営支援事業補助金を見直して既存の委託事業を整理し、令和3年度から観光客誘致促進事業、碓氷海岸インフォメーションセンター管理運営事業、観光センター管理運営事業を委託して実施する。